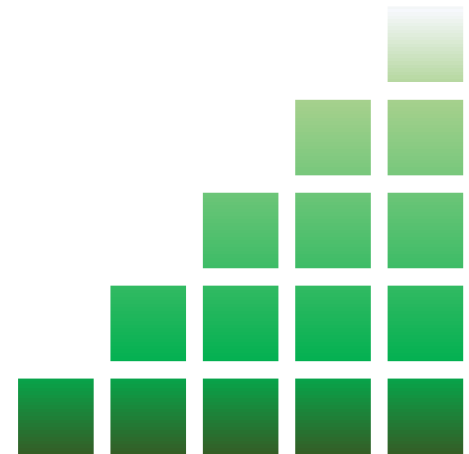


サイバーオンライン簡易防犯診断



広島県警察本部生活安全部
サイバー犯罪対策課



目次

1

サイバーオンライン簡易防犯診断とは？

2

申込手順

～申込サイト～

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police3/csphiroshima.html>



3

診断内容

4

注意事項

1

サイバーオンライン簡易防犯診断とは？



県内の事業者の皆様から、オンラインで申し込みを受け付け、県警がセキュリティに関する簡易的な防犯診断を実施します。



県警の特設サイトから、アンケート形式の質問事項に回答（選択式及び記入式）していただくと、後日県警から診断結果を送付させていただきます。



診断結果により、県警からセキュリティに関して助言をさせていただきますので、セキュリティ対策の見直しのきっかけにご利用ください。



質問事項の確認が難しい場合など、ご要望があれば、実地調査として直接事業所をお伺いし、同内容の診断を実施することもできます。

無料です！



2

申込手順

～手順の流れ～

※質問内容は合計約30問
回答目安時間10～15分

質問に対して回答するアンケート形式です

診断結果を送付します

①



事業者様からの申込

②



オンラインで必要
事項を入力して回答

③



申込内容を基に
診断を実施

県警側で実施します

④



診断結果を
受信して確認

⑤



セキュリティ対策
見直しのきっかけに

～申込サイト～

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police3/csphiroshima.html>

※広島県電子申請システムを利用しています

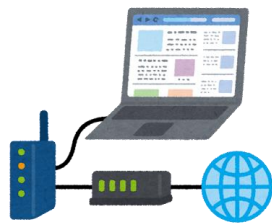


3

診断内容

診断内容については、大きく分けて3つの項目となります。

1



テレワーク等防犯診断

(VPN機器などを使用し、インターネット経由で事業所内のネットワークに接続している方向けの診断です。)

2



ファイル共有等防犯診断

(NASなどを使用し、ネットワーク上で事業所内のファイルを共有している方向けの診断です。)

3



ホームページ等防犯診断

(ホームページを運用されている方向けの診断です。
主に、WordPressを使用している方が対象です。)

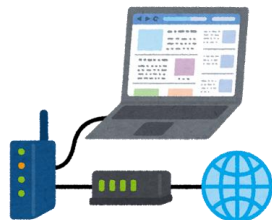
※すべての診断項目を選択することもできますし、必要な診断項目だけを選択することもできます。

※合計で約30の質問内容があります。(回答目安時間10～15分)

3

診断内容

1



テレワーク等防犯診断

- ☒ インターネット経由で事業所内でのネットワークに接続後、ファイルを操作したり、各種サービスへの接続をしている方が対象です。
- ☒ 具体的には、VPN機器やRDP（リモートデスクトップ接続）などを利用している方が対象となります。
- ☒ ランサムウェアの感染経路は、VPN機器及びRDPからを起因とするものが大多数を占めていますので、対策をとっておくことが重要です。
- ☒ 診断項目（質問内容）
例）▶アプリケーションを使用して接続していますか？
▶VPN機器を使用している場合、型番はわかりますか？ 等

3

診断内容

2



ファイル共有等防犯診断

- ☒ ネットワーク上で事業所内のファイルを共有する、ファイルをバックアップしている方が対象です。
- ☒ 具体的には、NAS（Network Attached Storage）などを利用している方が対象となります。
- ☒ ランサムウェアに感染した場合、共有しているファイル、バックアップファイルも被害に遭うと、業務に多大な影響がでてしまうので、対策をとっておくことが重要です。
- ☒ 診断項目（質問内容）
例）▶アプリケーションを使用して接続していますか？
▶NASを使用している場合、型番はわかりますか？ 等

3

診断内容

3



ホームページ等防犯診断



ホームページを運用している方が対象です。



具体的な診断項目は、WebサーバーソフトとWordPressです。



診断に必要な情報は、ホームページのURLです。



詳しくは、別添のホームページ等防犯診断関連資料をご確認ください。

3

診断内容

3



ホームページ等防犯診断

【診断項目】

Webサーバーソフト【1】



①『Apache』バージョンチェック

『Apache』
のバージョン確認



脆弱性のある
バージョンを回避

②『NGINX』バージョンチェック

『NGINX』
のバージョン確認



脆弱性のある
バージョンを回避

③『PHP』バージョンチェック

『PHP』
のバージョン確認



脆弱性のある
バージョンを回避

※Webサーバーソフト▶Webページ等を動かすWebサーバーで使用するソフト

※Apache▶Webサーバーソフトの名称

※NGINX▶Webサーバーソフトの名称

※PHP▶Webページ等で使用されるプログラム言語

※キャッシュ▶Webページのデータを一時的に保存して、次回接続時にすばやく表示させる仕組み

※iframe▶Webページ内に別のWebページを表示するための仕組み

※HTTPS通信▶データを暗号化して送受信するための仕組み

Webサーバーソフト【2】



①Cache-Controlチェック

キャッシュの保存
設定の確認



情報漏洩リスク
の軽減

②X-Frame-Optionsチェック

iframeでの
読込設定の確認



情報漏洩リスク
の軽減

③Strict-Transport-Securityチェック

HTTPS通信の
設定確認



情報漏洩リスク
の軽減

3

診断内容

3



ホームページ等防犯診断

【診断項目】

※WordPress▶ ホームページを作るシステムの一つ

WordPress



①バージョンチェック

『WordPress』
のバージョン確認



脆弱性のある
バージョンを回避

②ログイン画面を検出チェック

ログイン画面のURLが既
定のままであるかを確認



不正ログインを回避

③ログイン画面へのリダイレクトチェック

特定URLを入力すると、
ログイン画面に戻ってし
まうかを確認



不正ログインを回避

④ユーザー名の漏洩チェック

特定URLを入力すると、
ログイン時のユーザー名
が表示されるかを確認



不正ログインを回避

⑤遠隔操作ファイルの設定チェック

遠隔操作ファイルの設
定が有効になっているか
どうかを確認



不正ログインを回避

4

注意事項



同診断は、セキュリティの安全性を保障するものではありません。
セキュリティ対策の見直しのきっかけにご利用ください。



申し込みが多数ある場合は、回答に時間をいただくなど調整させていただく場合がございますので、ご了承をお願いいたします。



実地調査をご希望の場合、事前に事務所内での使用機器、ネットワーク構成などの運用状況の詳細を確認させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

※実地調査する内容については、同診断内容のみとなり、他の調査は実施しませんので、ご了承ください。

※申込状況等によっては、調査をお断りさせていただく場合もございますので、ご了承ください。